

もっと「おおたの同友」を知ろう！参加しよう！

O T A ・ N O ・ D O Y U

おおたの同友

東京中小企業家同友会 大田支部 © 広報誌リニューアル14号

広報委員会

おおたの同友 リニューアル14号（2018年12月発行）
広報委員長：針谷周作（コトノハ株式会社）
広報委員会：島村亮（株式会社ルミナス）
発行：東京中小企業家同友会大田支部
編集制作：コトノハ株式会社

入会のご希望は、東京中小企業家同友会大田支部
→ ☎03-3261-7201

例会・部会ダイジェスト

2018年後半に開催された例会・部会の内容をダイジェストとしてお知らせします。

9月例会

あなたの会社にも 発達障害の社員がいるかも

社員とちゃんと向きあうために発達障害を学ぼう

木津谷岳氏（発達障害者雇用支援アドバイザー）

自閉症スペクトラムには3つの症状があります。対人交渉の質的な問題（空気が読めない）、コミュニケーションの質的な問題（言葉の獲得に偏りや奇妙さがある）、イメージング障害（こだわりが強い）ということです。その他の特徴として感覚の異常（視覚・聴覚・嗅覚・触覚・温痛覚）、具体的で明確な情報への強い志向性、運動が不器用、いったん覚えたことをなかなか忘れない、相対的な関係を理解することが難しい。もともと脳機能構造自体が健常者と異なっているので、「できることをやらせて、できないことは無理にやらせない。苦手なことを注意しない」ことが大事です。自閉症スペクトラムは潜在的に人口の10%いると思われま。障害というより彼らの特性はリスクと捉えています。発達障害者は土台になっている個別のリスクが増えやすいという前提がある。ただし環境や配慮が行き届いていればダメージを低く抑えることができます。

よくある相談事例をいくつか紹介します。「片づけられない」。片づけなさいといってもできないので、最初から完成を求めずとりあえず箱や袋をもってきただけか所にとめなさいというのがいいです。「仕事がとんとん溜る」。仕事の優先順位が付けられない、いっぺんに複数ができないので、まずは1つやらせてきたら言ってきてねと仕事を小出しにするのがいいでしょう。「過集中」。表を作ればいだけだがその体裁や色づかいなどにこだわってしまいいつまでも終わらせません。仕事のオンオフをタイマーを使い、強制的に業務を終了させるなどがいい。「道に迷う」。道に迷ったら〇〇に戻るといったリカバリーの方法を予め教えておくことで。接し方の留意点、先に本人の言い分を聞く、命令でなく提案する、言行一致を心がける、感情的にならない、情報を視覚提示する、目に見えなくものを言語で構造化する。自閉症スペクトラムの人たちをどう活かすか。従業員と雇用主の雇用関係を、双方のニーズを満たす方法で個別化する「カスタマイズ就労」や、異能を活かす、見える化する、まめにリターンすることなどが挙げられます。



10月例会

成長発展し続けるための 経営指針と人材育成

～錯綜する経営環境の中で、揺るぎない経営基盤を確立する～

(株)大橋製作所 大橋正義氏

キーワードは無から有を生み出す。ゼロからの出発が基本。創業者は何も無いところから1916年に創業して、大橋製作所は今日まで至っています。何も無いということは想像し創造するという事です。社長の役割は、先を見る目と現実に見えてくる出来事の中で本質的なもの、トレンドを把握するという事です。

自分たちで仕事を創り出す

今日10月11日は日経平均株価が一時1000円超の下落となりました。世界に溢れているお金が世界同時株安で動き始めたといえます。私は自分たちで仕事を創り出すために、同友会を通じて都立高専や立正大学と交流をして自社製品をブラッシュアップしてきました。産学交流委員として都立高専で最初の展示会を企画しましたが、当時は自身が企画したにも関わらず展示する自社製品がなかった。これが私に火をつけた。そこから現在のわが社の源流機となる機械を開発することとなったのです。1990年、2001年ビジョン（10年）で自社製品の開発を掲げました。たくさんの失敗をしたにも関わらず大勢の人が後押ししてくれました。例えば生ごみ処理機は大田区で表彰されましたが大失敗の製品でした。

環境変化に対して我々は何をしていくのか

そして世界大不況になりましたが、ノキア社が携帯電話で世界の約40%のシェアを持っているときにパートナーに選んでくれました。我々の全自動機が評価され数十台受注しました。これがあったのでリーマンショックの年にありながら最高の業績で乗り越えることができました。そして様々な素材メーカーから声をかけてもらえるようになりました。リーマンショックから当社は第3波に突入しました。全自動機は、1日に約4万個生産できます。計画を立て、実行するためには詳細な経営計画を立てる必要があるのです。重要テーマは研究開発体制、人材の確保養成、学習型企業づくり。人材育成の基本は、あらゆる機会を学習に結びつける学習型企業づくりと、経営指針の作成と実践のプロセスです。重要プロジェクトの推進、全ての業務プロセスの定期的・継続的な洗い直しと改善・改革の実効のプロセスなど、業務に関係するあらゆる事象と行為から学習をするという態度で臨む組織風土を目指しています。

「OHASHIの10年先の方向と展望」

経営環境の変化、科学技術の加速度的進歩・発展性を生かし、問題性を克服する中で新しい製品・事業の開発に挑戦します。世界が変わるときは新しいもの

が必要となります。ターゲットを特定し方針を立てて具体的に活動します。信頼性の高い製品の实现、人材育成・共育を重視し、人を大切に会社づくりしていきながら前進していきます。



11月開催 部会報告

心理学を用いて社員とコミュニケーションを深め、
経営指針の実践を研究する会（通称LABO部会）

企業文化(社風)にアプローチする コミュニケーション

～TA(交流分析)を使って～

社会産業教育研究所・人材育成トレーナー

岡野亜希子氏（産業カウンセラー・キャリアコンサルタント）

社風とは何か？ それは、社員やその組織の構成員が共有して持っているもの。ふわふわと漂っていて、企業に影響をあたえたり、目的に沿って、目指すゴールに到達するのに頼れるもの。一度社風ができると、その組織にいい影響をもたらしてくれるのだ。例えば、人を雇う時にも「こんな感じの人」とすぐにイメージできたり、そこで働く人たちも社風に沿った行動をとるようになるのだそうです。岡野氏は、そんな「職場風土」や「社風」を変えたいという企業や組織から仕事を依頼されるそうです。企業風土を変える方法は大きく分けて「社長を変える」「場所を変える」といった構造を変える方法と、ダイナミクス（コミュニケーション）を変える方法の2つがある。岡野氏の講義の後、実際に参加会員がそれぞれに抱える問題点を書き出し、それに対する「構造」と「ダイナミクス」の2つの側面から会員同士が解決案を書き出した付箋を貼っていくグループワークを行なった。「こんな方法があったのか！」と膝を叩く会員も。じっくりと「社風」について考えるいいきっかけとなった会でした。



大田支部からのお知らせ（2018年12月）

NEWS

- ◎大田支部の会員数は175名（2018年度期首171名）です。
- ◎各例会の登録は、大田支部のホームページでも行えます。アドレスは、<http://ota-doyu.com>です。
- ◎「おおたの同友」についてご意見、ご感想がありましたら、事務局アイダまでご連絡ください。

（10月25日開催）



満員御礼！

中小企業家サミット2018
第25回
東京経営研究集会
第一分科会に登壇して
フジコン(株)
大島右京氏

この度、第25回経営研究集会の第一分科会「経営体験報告」の機会を頂きました。同会に登壇することは目標の一つに掲げていたのも嬉しく光栄でした。報告テーマは「事業承継と新価値創造」。事業承継は「新価値創造」については初めて。5年前、事業承継を目前に経営指針文化セミナーで中期経営計画を立案したことがきっかけで新価値創造に着手したのですが、5年の月日が経ち様々な新価値を創造し、その中でも弊社ならでは「宇宙ビジネス」と「健康経営」について報告させて頂きました。ありがたいことに定員75名は満席で多くのご来場を頂き、報告直後には山形同友会メンバーから来年同会の青年部での報告依頼を頂きました。さらには同席した弊社若手リーダー5名は報告内容やグループ討論で様々な学びや気付きが得られたようでとても有意義な機会となりました。チャンスを頂きありがとうございました。

お知らせ

大田支部賀詞交歓会

～2019年の恵方を風水に学び運気をアップさせましょう～

講師：山田光復氏

(株)ベストフォーチュン代表取締役社長

私たちが知らず知らず影響を受けている
目に見えない自然の力をどのように活用すれば
幸福を得る事が出来るのか！？
気の流れをコントロールし運気アップ！
講演の後はお食事とお酒をご用意しております。
運気の上った仲間たちと楽しい語らいを。

講師プロフィール

風水コンサルタントとして多くの企業の顧問風水師を務め、
自社ビル建築や一般住宅の新築・リフォームコンサルティングを手掛ける。内閣府認定NPO日本運勢鑑定士協会理事。
著書：「風水で幸せになる家づくり」成美堂 等



日時：1月24日 18:00～

会場：消費者生活センター(2階)
JR蒲田駅東口より徒歩4分

会費：6,000円

1/15以降のキャンセルは
キャンセル料を賜ります

お問合わせ：

03-3261-7201(電話)
事務局アイダ



※2018年に開催された賀詞交歓会の様子

今年で3回目となる大田支部の運動会フェスが、11月17日に開催された。2016年度は14社73名参加、2017年度は11社74名参加、そして2018年度は17社94名の参加となりました。運動会フェスを振り返り、支部長ならびに副支部長のコメントを掲載します。



Interview

社員たちが創った運動会

例会担当副支部長 (株)井上製作所 **井上健太郎**



有倉支部長の肝煎りで始まったこの企画も今回で3回目を迎えました。前回、前々回と大成功を収めました。その裏には皆川副支部長の周到な動きがありました。その様な今や支部名物の一角を占める例会の担当を任命されました。そして、いよいよ第一回運営会議の招集。同友会会員各社から名乗りを上げてくれた若獅子達が集う初回こそ最も大切だと一張羅のスーツを着込み幡橋院長兵衛よろしく『よし！絶対成功させる！』と意気込んで会場に踏み込んだ訳ですが、あれ？皆さん何か既に良い雰囲気でお話されておりますね・・・

そうです、本会を重ねる中で複数回参加してくれている社員さん（ウチの岡ちゃんも）が、初めて参加してくれた社員さんに積極的に声をかけて交流してくれているんです。

そうそう、これこれ！他流試合！そして運営委員会の後は幹事会と合流しての懇親会。これがまた良いんです！違う会社の社員さん同士が盃を酌み交わし、参加者がいい感じに酔っ払ってきた頃、実行委員長の中村さん（株）日本デジタル通信から会議報告が行われます。そこに幹事会の皆さんから叱咤激励の言いたい放題。こんな企画は他にないですよ！そんな感じで約半年の歳月を掛けて作り上げる例会には成功しかありません。ですから僕は初回こそ運営委員会に参加しましたが、その後は集まって頂いた社員の皆さんに安心して丸投げですよ。でも楽しかったなあ。

会員企業と社員たちが交流しながら つくる運動会フェス

支部長 (株)日本デジタル通信 **有倉将人**



大田支部では、2013年から「社員の心に火をつけて明るく元気な社風を創る会」で社員参加型のイベントを行なってきました。同友会の仲間とその社員皆で取り組むことを行いたいと思っていました。

気心の知れた会員企業と、それぞれの会社の社員同士が一緒になって運動会を企画し、作り上げていくものがスポーツだったらいいなと3年前に運動会をスタートしました。

私たち中小企業は大企業に比べれば小さな集団です。しかし、そんな中小企業がいくつか集まって、運動会を通して社員同士の交流が生まれれば、視野も広がりますし、同じ世代でがんばっている他社の社員さんとひとつの企画を進めていけば「自分ももっとがんばろう」など、自己啓発にもつながります。

今年で3回目になる運動会ですが、その年、その年の色が出ています。今年の運動会のテーマは「一体感」でした。それは、同友会の仲間としての一体感であり、運動会での白組、赤組として一体感もあります。

今回は社員さんたちによる運動会実行委員会も、その一体感をどう出すか、ということに苦しんでいたからこそ、結果的に楽しい運動会ができたと思います。

同友会の会員企業が社員ともども一体となって開催する運動会。来年も開催しますので、ぜひご活用ください。

一泊同友会

今年は2月16日(土)・17日(日)に開催!
一泊幹事会
場所:KKRホテル熱海



年明け2月16日(土)・17日(日)には毎年恒例の「一泊幹事会」が開催されます。会場は今年もKKRホテル熱海。こちらで次年度の大田支部スローガンをはじめ、各部会、委員会、同好会などの方針が決まります。夜には仲間たちとともに美味しい料理とお酒で親睦を深めます。ご興味のある方はぜひともご参加ください。お申込みは事務局まで。

実は全社参加型のイベントははじめてです!! 大田支部の運動会としては3回目となりました。社業の忙しさを理由に毎年「家族参加」としてきましたが、今年は一念発起して弊社の社員を全員引き連れての参加となりました。社員にとっては何で運動会?何すんの?仕事?休日だけどいかなくちやいけなないの?など不安でいっぱいでした(私の説明不足のため)から最初はイマイチ「テンション上がりず」でした。

〇×クイズ、ピンポン玉リレー、オカズゲーム、障害物競争、リレー、フリースローといういろいろな競技に参加させて頂きましたし、他にも実行委員会の皆様が工夫を凝らしたオリジナル競技を楽しみ、普段の顔とは全く違う社員たちの笑顔を見ることができました。お昼の休憩では、「折角だから車座になってお弁当を食べよう」と言って、まるで子供のころの遠足のようにクラスメイト(社員たち)と食事をしました。普段は全員が現場職のため昼食はいつも車の中です。慣れないスタイルでどこかきこない雰囲気でした。一番の盛り上がりは、赤白それぞれみんなで手をつないでの『人間知恵の輪』ではなかったでしょうか。参加者が一つになっただけで一つの競技に夢中になった瞬間が確かに実感できました。実行委員会の皆様お疲れ様でした。そして有難うございました。



(株)ルミナス
島村亮

運動会フェスに参加しました!!



会員企業とその社員が一体となって作る運動会フェス。来年もご期待ください!

今年も一年間ありがとうございました! よいお年をお迎えください。2019年もよろしくお願いたします。

同友会大田支部ホームページ <http://ota-doyu.com>